

123便事故の概要

123便JA8119号機は、昭和60(1985)年8月12日乗客509名、乗員15名が搭乗して、18時12分大阪(伊丹)空港に向け羽田空港を離陸した。

巡航高度24,000フィート(7,315メートル)に到達する直前、伊豆半島東岸に差しかかる18時24分35秒、同機に「ドーン」という音と共に飛行の継続に重大な影響を及ぼす異常事態が発生した。

機体後部圧力隔壁が破壊して、客室内と圧縮空気が機体尾部に噴出し、APU(補助動力装置)及び機体後部を脱落させ、垂直尾翼の相当部分を破壊し、それに伴い動翼を動かす油圧装置が全て不動作となってしまった。

以後、同機は激しい上下・蛇行運動を繰り返しながら約32分間飛行を続け、18時56分頃群馬県多野郡上野村の山中(標高1,565メートル、御巣鷹山南方の尾根)に墜落した。

本事故の原因は、同機が事故の7年前(1978年)大阪空港着陸時に起こした尾部接触事故の修理に際し、ボーイング社により行なわれた後部圧力隔壁の上下接続作業の不具合にあり、7年間の飛行でその部分に多数の微小疲労亀裂が発生、次第に伸長し、この飛行で隔壁前後の差圧が大きくなった時点で亀裂同士が繋がりが一気に破壊が進み、2ないし3平方メートルの開口部ができたものと推定される。

(運輸省航空事故調査報告書要約)

捜索・救難活動は事故後ただちに開始されたが、人里離れた山中でもあり、墜落場所の確定も遅れ救難隊の現地到着は翌朝となった。

乗客・乗員524名のうち520名の方が亡くなられ、4名の方が重傷を負いながらも救出された。

開館日・開館時間

開館日：月～金(年末年始および祝日を除く)
開館時間：10:00～12:00、13:00～16:00

(注)上記開館日・開館時間内でも、運営上の都合により随時閉館する場合がありますので、来館に際しては、事前にご確認ください。

見学の申し込み

本センターはJALグループの研修施設ですが、航空安全に関心のある一般の方々の見学も研修に支障のない範囲で受け入れております。
ご希望の方は、下記問い合わせ先まで事前に申し込みをお願いします。

日本航空安全啓発センター

電話：03-5756-3566
ファクス：03-5756-3576
e-mail：jalspc@jal.com

アクセス



住所：〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-7-1
空港施設(株)第2総合ビル2階(K2ビル)

最寄駅：東京モノレール「整備場」駅下車徒歩5分

※駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。
※「整備場」駅は普通列車のみの停車となりますのでご注意ください。

日本航空 安全啓発センター



日本航空安全啓発センター

「安全啓発センター」設置にあたって

1985年8月12日、日本航空123便が御巣鷹の尾根に墜落し、520名の尊い命が失われました。この事故で亡くなられた皆さまの苦しみやご無念、残されたご遺族の悲しみには計り知れないものがあります。私たちはこの事故の悲惨さ、航空安全に対する社会的信頼の失墜を省みて、二度とこうした事故を起こしてはならないと強く心に誓いました。

あれから20余年が経ち、事故の教訓を風化させてはならないという思いと、安全運航の重要性を再確認する場として、2006年4月24日に安全啓発センターを設置しました。

この安全啓発センターには日本航空123便事故の残存機体の一部をはじめ、日本航空グループが創業以来経験してきた航空機事故の記録を展示しています。社員一人一人がこの場に立ち、航空機事故と真正面から対峙して人の命の尊さ、安全運航堅持のために何ができ、何をすべきかについて自ら学ぶ場としなければならないと考えております。

JALグループCEO



展示室

墜落現場や飛行経路下から回収された部品のうち、日本航空に返却後保存されていた後部圧力隔壁、垂直尾翼、後部胴体および乗客用座席などの部品が展示されています。

資料室

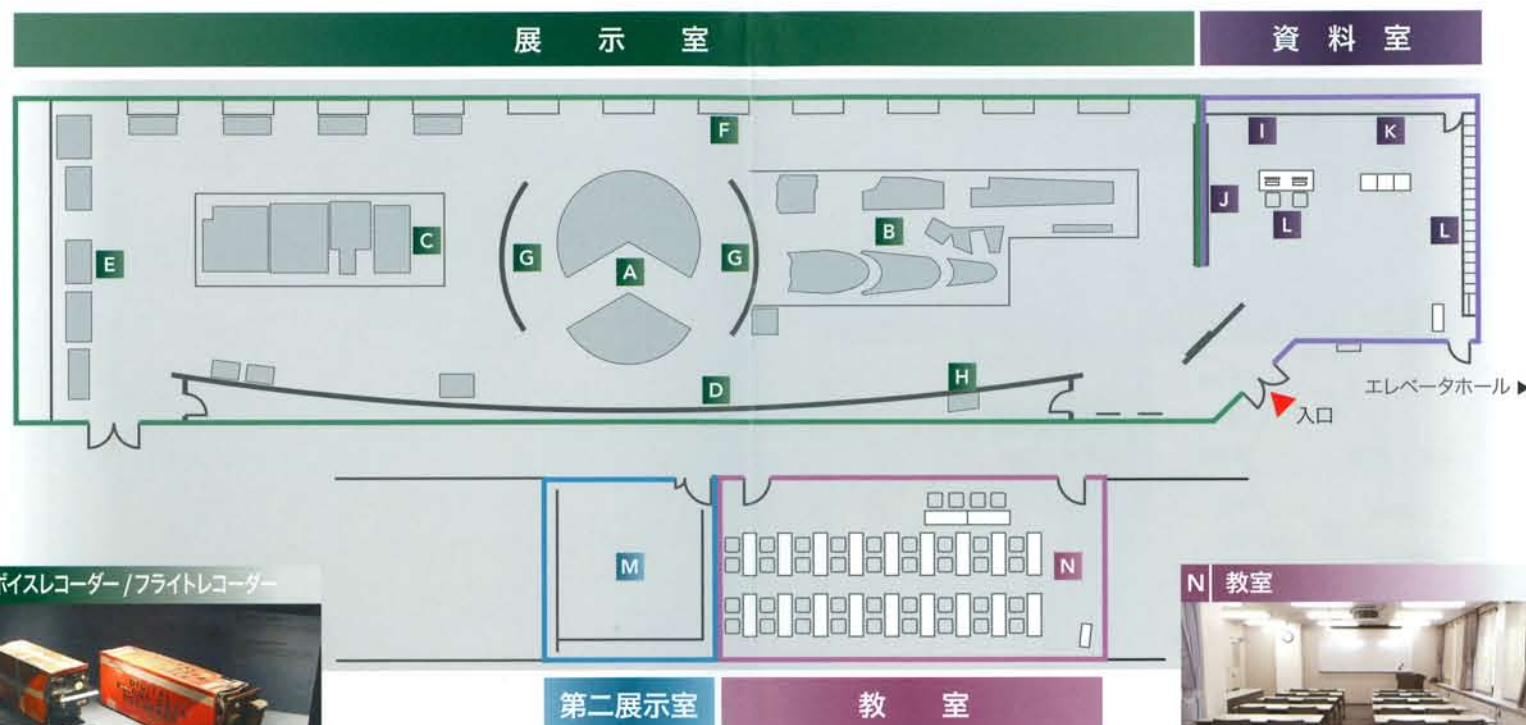
これまでに日本航空が起こした事故や世界の主な航空機事故の資料が展示されています。事故の原因や対策についても説明を加え、航空機の安全性向上の歴史について学べるようになっています。



ジェット機が商用運航を開始した1950年代以降の主な事故を年代順に紹介してあります。



日本航空以外の航空会社の主な事故事例について事故の概要・原因・対策を説明しています。



123便事故の説明パネル 事故機の飛行経路、フライトレコーダーの記録、回収部品などの情報をパネルと映像で説明しています。

1985.8.12 JA8119 JL123

推定飛行経路 フライトレコーダーの記録 機体の損傷箇所 展示部品 「残存部品」の回収場所 客室レイアウト



日本航空の起こした主な事故について事故の概要・原因・対策を説明しています。



センター内のモニターで流している映像を見ることができる他、インターネットで各種事故情報を参照することができます。航空事故・航空安全に関する各種書籍、航空事故調査報告書等の書籍・文献を収納してあります。



事故の教訓に基づきどのような改善がなされたかを示す「航空安全の歩み」等を展示しています。